

平成23年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

団体名		公益財団法人 武蔵野市子ども協会						
①	指標名	移管保育園2園運営の充実、境こども園（仮称）開設準備			目標値	保育園運営委員会運営、境こども園コンセプト検討、北町及び境こども園実施設計・着工	実績値	運営委員会開催、専門家会議の開催、北町及び境こども園工事着工。
	過去の実績	平成20年度	平成21年度	平成22年度	達成率	—	達成状況	未実施・未達成・ <b>達成</b>
	(単位: )	—	—	—				
	取組内容	<p>※22年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。</p> <p>①保育園運営委員会や第三者評価等で協会園の保育に関してご意見をいただいた。また、運営委員会での意見なども参考に、震災時の広報手段として活用できるツイッターを導入したり、散歩コースの放射能測定を行ったりした。</p> <p>②境こども園については、専門家会議及び地域協議会を設置して、専門的見地からのご意見や幼稚園・保育園保護者及び地域の方のご意見等も取り入れることで、ワーキングの議論がさらに幅広いものとなった。</p> <p>③境こども園園庭に関する陳情で設計変更があったものの、北町は2月、境こども園は3月に無事着工することができた。</p>						
業	一次評価	<p>※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。</p> <p>運営委員会でも第三者評価でも、協会園は移管による影響を感じさせない保育を行っているとの評価を得ることができた。まずは順調なスタートが切れたので、職員研修体制等を強化してさらに保護者に信頼される保育園運営をめざす。また、陳情等を受けて設計プランの変更があったものの、意見を聞く場を設けるとともに、しっかりと内部でも検討を行い、無事着工することができた。今後は工事監理をしっかりと進めていく必要がある。</p>						
	二次評価	<p>これまで順調に移管・運営が行われていると評価する。今後の保育園移管、子ども園開設に向け、これまでの経験を活かし、必要な対応を行うこと。</p>						
②	指標名	公益法人会計、社会福祉法人会計に基づく財務マネジメントの実施			目標値	都への平成23年度事業報告を円滑に行えるよう、着実な財務管理を行う。	実績値	平成20年度会計基準による決算書の作成、勘定科目の整理統合
	過去の実績	平成20年度	平成21年度	平成22年度	達成率	—	達成状況	未実施・未達成・ <b>達成</b>
	(単位: )	—	—	—				
	取組内容	<p>※22年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。</p> <p>①公益会計初年度であることに加え、公益法人の経営する保育園は多分全国唯一であるため、都に問合せても答えがなかなか出てこない状況の中で経理を行っていくことは大変困難であったが、公益として求められる平成20年度基準での決算書作成を目標に取り組んだ。</p> <p>②公益会計と社会福祉法人会計のダブルスタンダードの状況ではあったが、事務を行うなかで、年度末にはより効率的な科目体系に整理を行った。</p> <p>③厳しい資金繰りの中、会計間の貸し借りや補正等によって予算執行を行った。</p> <p>④人事給与システムについては、平成24年度からサーバーを入れ、複数体制で業務執行が可能となった。</p>						
務	一次評価	<p>※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。</p> <p>例のない会計を行うことに対する苦労は大きかったが、都や顧問会計士とのやり取りを行いつつ、施設の執行担当への指導もしっかりと行うことで、都の指導検査、決算をなんとか乗り切ることができた。初年度の収入が見込みと異なる部分もあり、資金繰りがぎりぎりの時期もあったが、支出状況を細かく確認し、会計間の貸し借り等のテクニックも使うことで乗り切ることができた。今後も事業拡大に伴い、会計処理、人事給与と処理は厳しい状況が予想されるが、状況を把握し、事務の効率化に努めていきたい。</p>						
	二次評価	<p>2種類の会計処理を行うなど、複雑な事務を遺漏なく処理できたことは評価できる。今後、安定した運営に努めるとともに、市派遣職員の引き上げなどにも備え、団体職員での知識の共有を図ること。</p>						
③	指標名	スタッフの人材採用、育成			目標値	境こども園（仮称）、公立3保育園の移管に備えた保育士を中心とした職員の確保、研修の充実	実績値	H24年4月採用新人職員15名。新人研修等の実施。
	過去の実績	平成20年度	平成21年度	平成22年度	達成率	—	達成状況	未実施・未達成・ <b>達成</b>
	(単位: )	—	—	—				
	取組内容	<p>※22年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。</p> <p>①保育士の人材不足の中、事業拡大に必要な人材を確保するため、大学・専門学校に募集要項などを配布するだけでなく、就職課等に訪問し、当協会のPRに努めた。</p> <p>②保育課と協力して採用説明会を実施し、市と協働で子育て支援事業を実施していることをPRし、協会の若手職員との車座で話す機会を設けることで、仕事の様子を知ってもらうことに努めた。</p> <p>③春、秋の新人研修を行い、評議員や理事を初めとした専門家からの研修や、市職員からの制度面の研修等を行った。</p>						
内	一次評価	<p>※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。</p> <p>民間園はどこでも人材確保に苦しむなか、50名以上の受験者を確保することができ、保育士13名、保健業務1名、事務職1名をH24年4月に採用することができた。来年度はさらに多くの職員を採用する必要があるため、さらに積極的な広報活動を行いたい。また、保育園職員の採用は2年目ということで、前年よりもかなり充実した研修プログラムを作成・実施することができた。今後は職員数が増えていくので、組織全体としての研修についても検討する必要がある。</p>						
	二次評価	<p>保育園の運営に必要な保育士の確保ができたことは評価できる。保育士の質が、これからの利用者からの評価へと直接つながっていくので、研修のみならず日常の業務の中においても適切な指導を行うこと。</p>						
理	一次評価							
	二次評価							